

平成屯田兵ツアー

東京北見会 幹事長 作田 英二

去る5月24・25日の2日間、東京北見会主催の「平成屯田兵ツアー」が開催されました。ツアーの目的はその名の通り平成の屯田兵として、故郷北見で農作業をしようとして、計画されました。そのツアーも今年で8回目を数え、年々盛況になってきています。

今年は東京から25名が参加しました。当日は羽田空港を朝7時に出発し、帯広空港に着きました。帯広は気温が低く、さすがに北海道という感じがしました。空港には北見から市役所の観光課の担当者とバスが迎えに来ていただき、北見に向けて出発しました。

途中、帯広の真鍋庭園を見学し、昼食は帯広名物のブタドンで舌鼓を打ちました。昼食後、帯広で有名な「柳月のお菓子館」を見学し、お土産を買いました。

北見に向かう途中、最近有名になった温根



とち帯広空港にて

湯の「山の上水族館」を見学しました。巨大な幻の魚「いとう」が水槽を泳ぐ姿は圧巻でした。その夜は北見市との懇親会が、温根湯の大江本家（当日の宿泊ホテル）で行われました。北見市からは市長、市議会議長、市議会議員をはじめ多数の北見の人達が出席していただ



日本人が一番やっているスポーツ？ それは「ボウリング」

東京常呂会 勢簾 加代子



き、盛大に催されました。その後、ホテルで二次会も行われ、カラオケで自慢の喉を開かせていました。翌日はオフショントツアーとして、滝の上の芝桜を見学に行きましたが、例年なら満開の芝桜を見学する予定でしたが、残念ながら今年の北見地方は異常低温で全く咲いていませんでした。その後、上湧別のチューリップ公園を見学し、昼食は紋別港の食事処でトラバガニを一人に一杯食べて全員満足の内に北見市内に戻ってきました。

「ストライク！」「わー」「スベアとれた」わーと会場一体に賑やかな歓声が飛び交い、「タ



120名の参加者でにぎわったボウリング大会

ツチ」「ハイタッチ」「ハグ」と、120名の選手と応援者でボウリング場が湧きあがりました。去る7月13日、オホーツクふるさと会連合会の親睦ボウリング大会を大盛況にて終えました。私がアマチュアボウラーとして趣味でボウリングを始めて15年、運動不足もあり友人とボウリング場に行ったのがきっかけにプロとの出会いからはまってしまいました。

フロアの教室に通いながら、大きな大会にも参加し始めた頃、北見会と合同の物産展の打ち上げ会の席で、「ボウリング大会をやるうヨ！」と興味を示す人が多くいたのがスタートです。

2月は北見市ふるさと会（一市3町の合併ふるさと会）第7回が終え、7月13日が第6回のオホーツクふるさと会のボウリング大会を13の会が参加しました。

年々参加者も増え、1000名を超える様になりました。各ふるさと会も現在高齢化とな

る会員、若い人の参加が少なく伸び悩むふるさと会の現状を耳にする中、こうして近隣のふるさと会との交流を作り、また違う空気を入れ合えるのです。

ボウリング後の懇親会のジャンケン大会にも熱が入り、ボウリング2ゲームの集中で体を動かし、アトラクションでは、たかが「ジャンケン」されど「脳トレ」ほうーと「ゲウ」「チョキ」「パー」を出すのではなく「先を読んでね」と私は言う。勝ち取った景品にまた笑いが絶えない。一日沢山笑って皆さんに福の来る人生であってほしい。そして高齢者が多くなる現在、生涯スポーツとして注目されているボウリングをふるさと会に入れ、人の活性化と会の活力に元気でいれる事を願いつつ、私は実行委員長をさせて頂いております。

北のかおり

かつて、ハッカで栄えた街があった...北見市。
歴史を今に伝える...

かつて世界市場の70%以上を北見地方で生産していた時代がありました。北見ハッカ通商は、輸入自由化や合成ハッカの増産、閉鎖に迫っていた世界一の「北見ハッカ工場」の再生を夢見て創業された会社です。「すばらしい地域資源の再生」と「ハッカ王国の再現」を夢見ながら、ここ北見の輝かしい背景を武器として、比類なき地域となる様、そんな貢献がしたいと考えています。

TEL 0120-17-3663
FAX 0157-66-3663
E-MAIL info@hakka.co.jp

株式会社 北見ハッカ通商
〒990-0036 北海道北見市30町1-5-2
TEL 0157-66-3663 FAX 0157-66-3663
Mail: info@hakka.co.jp